

## 平成28年度事業実績報告(概要)

平成28年度社会福祉法人清和会における事業実績について、次のとおり報告します。

平成28年度における法人及び各施設・事業所は「We Are Not Alone. 共に助け合って生きる。」という法人理念のもと、社会福祉法人の使命を自覚し、地域福祉活動を推進することに努めました。

当法人は、昭和59年8月に設立され、昭和60年4月に全国初の痴呆(現認知症)老人専門の特別養護老人ホームを設置し、今日まで全事業所において行政・医療・地域と連携する福祉活動を展開してまいりました。一方、平成28年度は改正社会福祉法の施行に伴い、社会福祉法人制度改革があり、当法人は①経営組織のガバナンスの強化②事業運営の透明性の向上③財務規律の強化④地域における公益的な取組みの実施等について取り組みました。

全体として法人の各施設・事業所における今期の事業は、介護報酬4.48%引き下げの改定により厳しい経営となりましたが、人員の確保及び定着、サービスの質の向上と稼働率向上、職場環境の向上、認知症事業、施設設備の省エネ対策等に努めました。

個別事業の主な事業は次のとおりです。

① 法人事業の重要事項は、理事会及び評議員会を開催し、決定し

た他、法人監査を実施しました。

- ② 職員採用は、「リクナビ」及びハローワーク等を活用し、学校訪問を行いました。
- ③ 職員研修を計画的に実施し、職員の資質向上を図ると共に、キャリアパスの観点から資格取得の支援を行いました。
- ④ 改正社会福祉法に伴い、法人の定款を変更するなど、コンプライアンスの充実に努めました。
- ⑤ 第15回地域防災訓練、二宮・飯山満地区福祉まつり、飯山満公民館文化祭等の地域貢献事業を積極的に行い、地域との連携を図りました。
- ⑥ 船橋市の認知症カフェ事業に協力し、WANAオレンジカフェをオープンした他、市民対象の認知症セミナーを2回開催しました。
- ⑦ 国のマイナンバー制度に対応し、「特定個人情報取扱規程」を制定すると共に、「労働安全衛生法」の改正に伴うストレスチェック制度を導入しました。

平成28年度は国や船橋市が進める社会福祉法人制度改革の第一歩の年でありましたが、今後も真に地域福祉の貢献を目指してまいります。

以上、平成28年度の事業実績の概要を報告します。